

8月5日開催

第62回島根県PTA联合会研修大会 安来大会 参加報告

花火の余韻冷めやらぬなか、安来市アルテピアでの県P連大会に、松江市PTA联合会からは約140人で参加しました。

歓迎に安来一中弦楽部の演奏が3曲ありました。真新しいホールで一般の大人を相手の演奏はきっと良い体験になったことでしょう。なにより中学校の部活で弦楽器だけで50人の大所帯は素晴らしい。近年は少子化で団体の部活は存続が難しいなか、運営や指導の体制を伺ってみたい気がします。

式典・表彰式では、団体表彰で川津小学校が登壇されました。同じ市の中間の事績が評価されるのはうれしいものです。松江市から次々と後に続かれますように願わずにられません。

実践発表は、地域の偉人顕彰に劇団を作った話。親子で役者をしてセットや小道具で地域の方々も協力という、学校を軸に縦横の連携が図られた好例と思いました。何年かに一回なら大がかりなイベントも楽しそうですね。

さて、後半の講演は3人の男の子の父親としての体験談。僕より少し上の年代で長男はすでに社会人。家庭と仕事の両立がまだまだ厳しかった時代のこと、長男の進路問題、次男がいじめに直面した時。子育てという正解の無い道程に家族はどう向かっていったのか、テレビの仕事の人は話の伝え方も上手で聞き入ってしまいました。

そして、報道の仕事で東日本大震災の現場に携わった者として、この体験を、そして人生というものを父親から息子へどう伝えるのか。進行形の思いも同じ息子を持つ父親としてひしひしと感じた講演でした。

(文責 市P連副会長 寺津豪佐)

